

ベトナム溶接研究会 第8回研究会(ベトナム・ハイフォン市)

勝又 美穂子

グローバルD&I推進室 准教授

2023年2月10日(金)、ベトナム・ハイフォン市にて第8回ベトナム溶接研究会を開催しました。ハイフォン市はベトナムの首都ハノイ市から約120km(車で約1.5時間)東に位置する北部で最大の港湾都市です。今回はハイフォンのDinh Vu(ディンヴ)工業団地にある日系企業2社の工場見学と、企業からの最新技術に係る講演という構成で開催しました。研究会には29名の御参加があり盛況となりました。

まず、最初に訪問したのは十一屋工業ベトナムです。鉄骨の製造を行われており、ベトナムにおいても100%日本向けの鉄骨を製造されています。十一屋工業ベトナムの中杉総務部長によるご案内で工場内での製造工程を細かく見学した後、日本におられる同社佐々木社長とオンラインで繋ぎ、会社説明及び質疑応答を実施頂きました。

次に訪問したのは、IHI インフラストラクチャーアジア (IIA) です。ベトナム国内に留まらず海外向けの社会インフラ設備(橋梁、高架鉄道橋他)の製造・建設を行われています。工場見学の前に山中工場長より同社についてご紹介頂いた後、梶間社長と山中工場長のお二人によるご案内で工場見学を実施しました。一つのグループは製造工程の上流から下流の順序で、別のグループは製造工

程の下流から上流の順序で二班に分かれて見学を行いました。

両社の工場見学は大変貴重な機会となり、鋼板の状態から溶接作業を含む様々な行程を経て最終製品の形になるまでを時間をかけて拝見することができました。

工場見学後は、企業の最新技術に関する技術研究講演として(株)神戸製鋼所 溶接事業部門技術センター 山崎 圭 主任部員より「産学連携による溶接ソリューション -新立向自動溶接プロセスの開発-」というタイトルでご講演頂きました。大阪大学接合科学研究所との共同研究を活用した研究開発事例が紹介され、複雑な溶接現象の理解と産学連携の重要性が述べられました。研究会最後には同研究会会長で本研究所の田中所長より、企業への御礼が述べられ閉会となりました。ハイフォンの地における初の開催でしたが大変有意義な研究会となりました。

ベトナム溶接研究会は今後も産学連携の強化及びベトナムにおける溶接技術向上と技術者育成を目的として、こうした活動を継続的に実施致します。今後も企業及び関係大学からのご理解とご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



IIA 工場見学中の集合写真



山崎氏講演会の様子